

# 2024年1月末分外傷・障害発生状況

---

## + 集計方法

- :各クラブのメディカルスタッフが外傷・障害発生時にONE TAP SPORTSにその記録を入力  
(データ入力に関するガイドラインに基づく)
- :研究倫理(個人情報取り扱いを含む)の研修を受けた株式会社ユーフォリアの担当者が  
データを抽出し集計

## + 定義

- :2023年10月2日～2024年1月31日に発生した外傷・障害
- :試合または練習で発生した外傷・障害を対象
- :離脱を要する外傷・障害のみを対象
- :期間中に移籍が生じた選手は移籍元および移籍先でそれぞれ別選手として計上  
※各集計において「発生割合」が僅かに小さく反映されるが、シーズン全体の集計時には修正予定

## + 集計

- :株式会社ユーフォリア(B.LEAGUE SCS推進チームメンバー\_協賛社)

## 2023年10月分

- 開幕1ヶ月間のデータを集計
  - 平均出場時間や登録国籍区分による状況が浮き彫りに
- 1.試合における発生率はB1で昨対2.9%減、B2で昨対24.8%増
  - 2.平均出場時間15分以上の選手群の外傷・障害発生割合は15分未満の選手群の2.81倍
  - 3.外国籍選手の外傷・障害発生割合は日本人選手の2.0倍

## 2024年1月末分

- 10月分と同様の集計項目により推移の状況を確認
  - ポジションによる相関や日本代表選手の状況を新規抽出
- 1.試合における発生率は**B1で昨対2.4%増、B2で昨対11.8%増**
  - 2.平均出場時間15分以上の選手群の外傷・障害発生割合は15分未満の選手群の**2.37倍**
  - 3.外国籍選手の外傷・障害発生割合は日本人選手の**1.4倍**
  - 4.**ポジションによる外傷・障害発生リスクの相関は確認できない**
  - 5.**日本代表選手の外傷・障害発生割合は57.1%。同国籍区分で同等程度にプレータイムがある日本代表以外の選手群の割合47.9%と比較して1.19倍高い**

## - 10月分\_リーグ戦消化率B1B2:15% -

- 1月末分\_リーグ戦消化率B1:56.7% / B2:58.3% -  
※10月末時点の約3.8-3.9倍の試合を消化

## ▶ 期間内総数

80 件 ※昨対4.8%減

293件 ※昨対2.0%減

## ▶ B1/B2内訳

B1:46件(57.5%) B2:34件(42.5%)  
1クラブあたりB1:1.9件 B2:2.4件B1:187件(63.8%) B2:106件(36.2%)  
1クラブあたりB1:7.8件 B2:7.6件

## ▶ 部位 / 種類

部位:足関節が最多(26.3%)  
種類:足関節関節捻挫が最多(18.8%)部位:足関節が最多(24.2%)  
種類:足関節関節捻挫が最多(20.1%)

## ▶ 練習 / 試合

練習:16件(20.0%) 試合:64件(80.0%)

練習:61件(20.8%) 試合:232件(79.2%)

## ▶ 試合における発生率

B1:51.37件/1,000 athlete-hours ※昨対2.9%減  
B2:62.05件/1,000 athlete-hours ※昨対24.8%増B1:52.20件/1,000 athlete-hours ※昨対2.4%増  
B2:51.57件/1,000 athlete-hours ※昨対11.8%増

## ▶ 平均出場時間

平均出場時間15分以上の選手群の外傷・障害発生割合は  
15分未満の選手群の2.81倍(19.93% vs. 7.08%)平均出場時間15分以上の選手群の外傷・傷害発生割合は  
15分未満の選手群の2.37倍(50.2% vs. 21.2%)

## ▶ 国籍区分

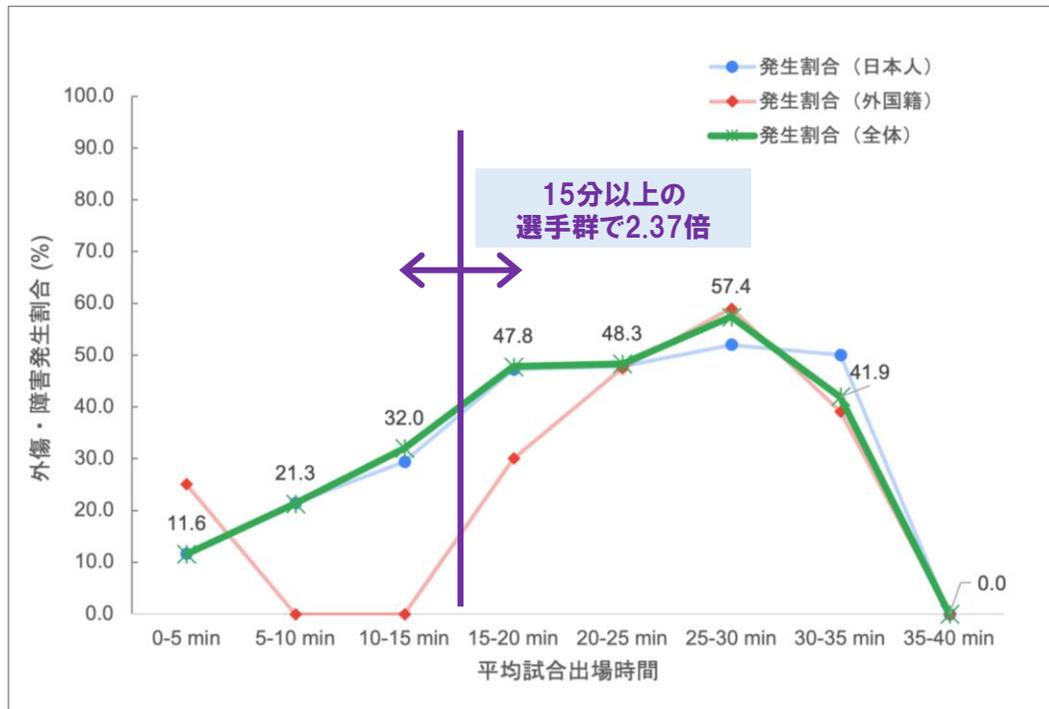
外国籍選手の外傷・障害発生割合は  
日本人選手の2.00倍(22.83% vs. 11.40%)外国籍選手の外傷・障害発生割合は  
日本人選手の1.4倍(47.6% vs. 32.9%)

# 4 平均出場時間区分による外傷障害発生割合の推移

+ 平均出場時間15分以上の選手群の外傷・障害発生割合は15分未満の選手群の**2.37倍**

- ・15分の前後で発生割合の差分は大きいものの、15分を境に急激に発生割合が高まるわけではない
- ・さらに、発生割合のピークは25-30minであり、30-35minで減少している

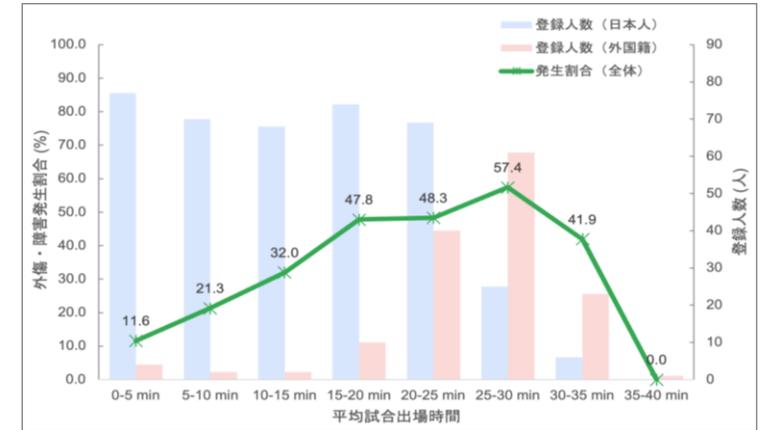
図1. 日本人選手・外国籍選手・登録選手全体の平均出場時間区分ごとの外傷・障害発生割合



## (1) 出場時間における登録人数の内訳

- 日本人選手は20-25minまでの区分に多くの選手が分布し、25-30minにおいて外国籍選手の分布を下回る
- 外国籍選手は15-20min未満の区分に存在する選手は僅かであり、25-30minから全体の多数を占める
- 登録人数に対する上記内訳より、**20-25minまでは日本人選手の、25-30minからは外国籍選手の発生割合が全体の発生割合へ大きく影響する**

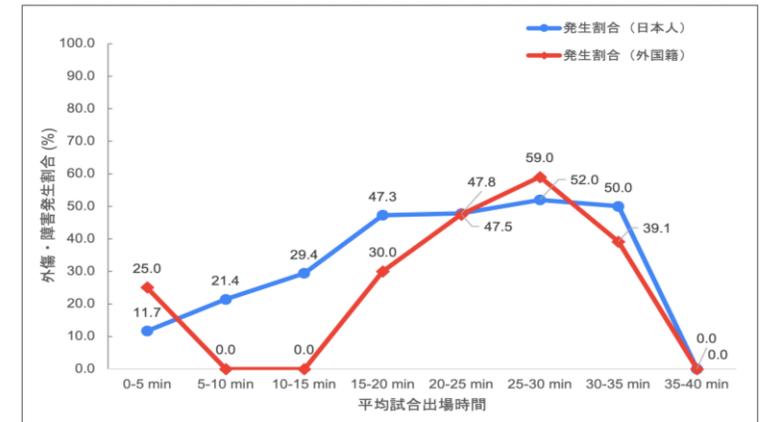
図2. 日本人選手・外国籍選手の平均出場時間区分ごとの登録人数と登録選手全体の外傷・障害発生割合



## (2) 日本人 / 外国籍の出場時間ごとの発生割合

- 日本人選手は15-20minにかけて出場時間に比例して発生割合が高まり、15-20min以降はさほど大きな増加は見られない
- 外国籍選手は25-30minにかけて発生割合が高まり30-35minで減少する
- **各時間帯ごとに日本人-外国籍選手の発生割合を比較すると、必ずしも外国籍選手が高いわけではない**

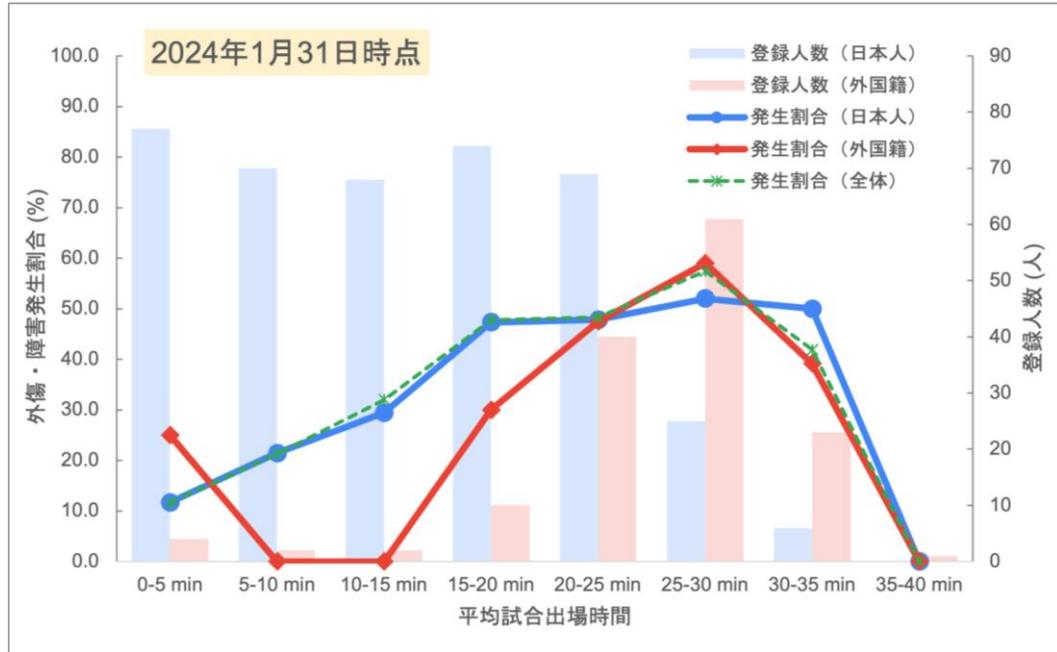
図3. 日本人選手・外国籍選手の平均出場時間区分ごとの外傷・障害発生割合



## + 外国籍選手の外傷・障害発生割合は日本人選手の1.4倍

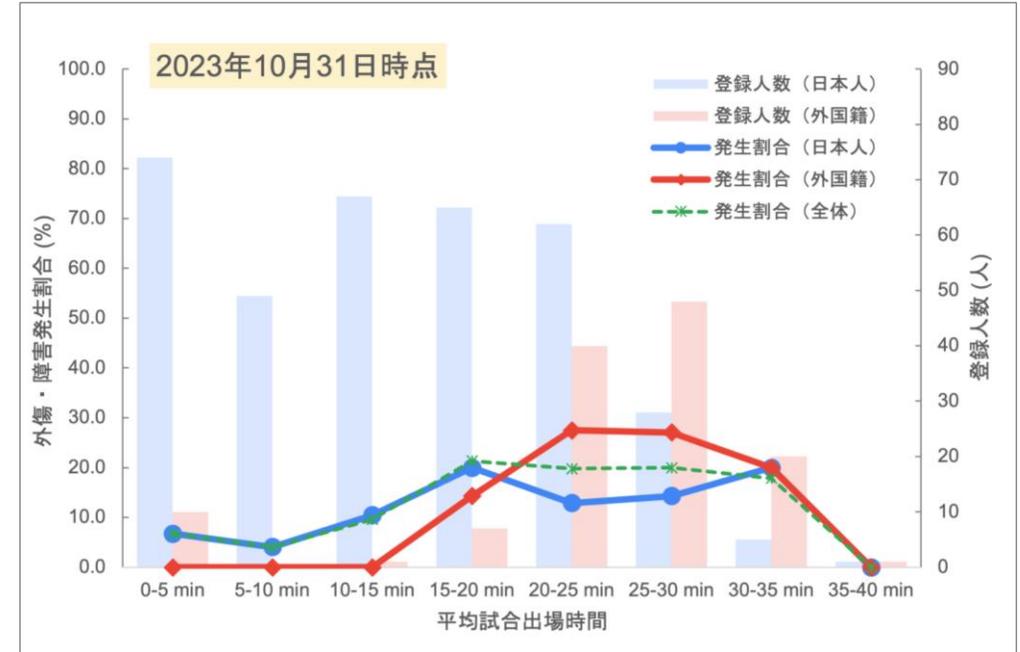
- ・外国籍選手全体の外傷・障害発生割合は47.6%であり、日本人選手全体の発生割合32.9%に対して1.4倍
- ・ただし、各出場時間区分全てにおいて外国籍選手の方が発生割合が高いわけではなく、右記の要因があると考えられる

図4. 日本人選手・外国籍選手の平均出場時間区分ごとの登録人数と外傷・障害発生割合 (2024年1月31日時点)



01. 外国籍選手は94.4%の選手が15-20min以上の出場時間であり、**比較的発生割合が高い区分にほとんどの選手が属している**
02. 日本人選手は55.3%の選手が10-15min以下の出場時間であり、**比較的発生割合が低い区分に属している選手が過半数を占める**
03. 10月迄の集計においては、**特に20-25min、25-30minの時間帯区分で外国籍選手の発生割合が日本人に比べて顕著に高く、開幕後1ヶ月に特定したリスク差異の可能性**がある

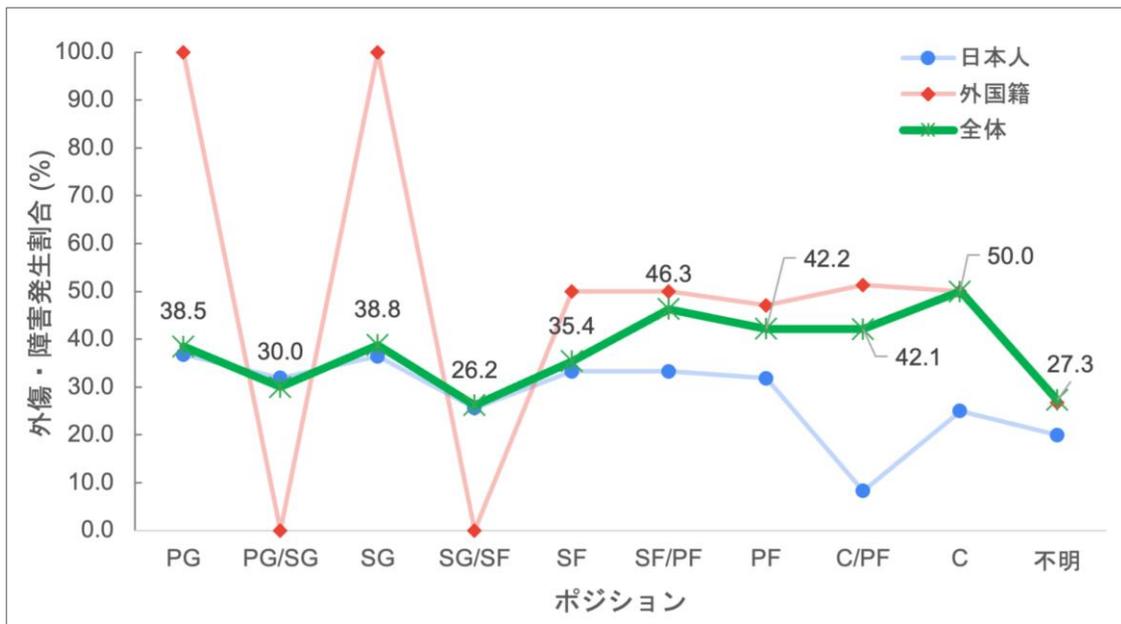
図5. 日本人選手・外国籍選手の平均出場時間区分ごとの登録人数と外傷・障害発生割合 (2023年10月31日時点)



## +ポジションによる外傷・障害発生リスクの相関は確認できない

- ・国籍区分を問わずに外傷・障害発生割合をみると、選手全体と比較して、SF/PF、PF、PF/CおよびCの外傷・障害発生割合が4.1-11.9%高い
- ・ただし、右記の考察のとおりポジションによる発生リスクの相関は確認できない

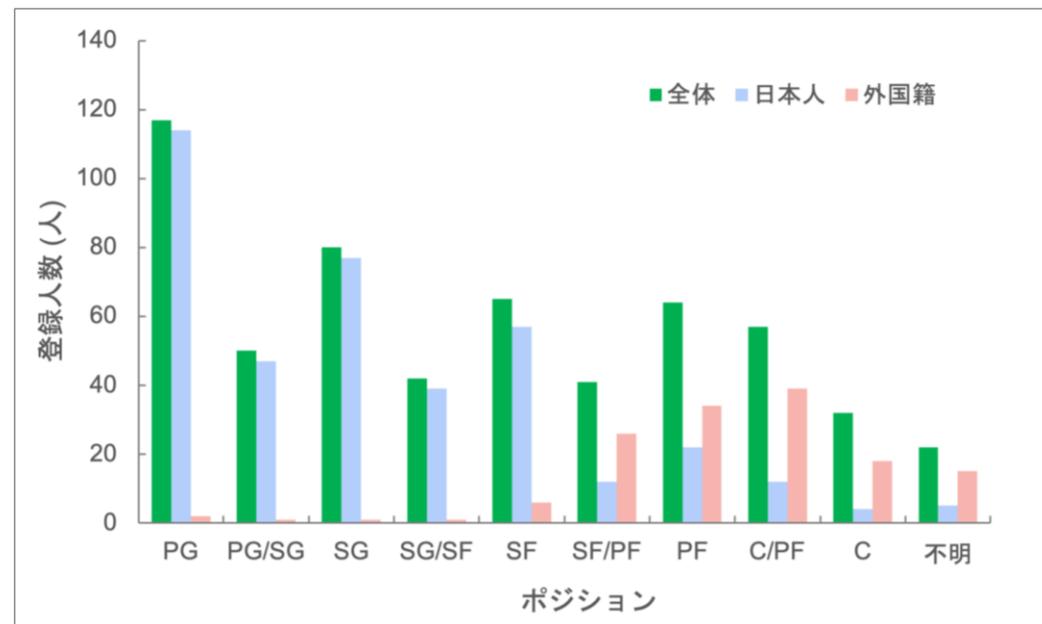
図6. 日本人選手・外国籍選手・登録選手全体のポジションごとの外傷・障害発生割合



※ポジション区分の「不明」は移籍により外傷障害発生時のクラブから離脱しているケースを指す(シーズン全体の集計時においては所属時点のポジションへ修正予定)

01. 当該ポジションは外国籍選手が多く登録されており、**外国籍選手の人数の多さと、外国籍選手の外傷・障害発生割合の高さが影響している**と考えられる。
02. **同じ国籍区分内では当該ポジションに登録される選手の発生割合がとりわけ高いということはなく、現時点では当該ポジションの特性として外傷・障害のリスクが高い**ということは断定できない

図7. 日本人選手、外国籍選手、登録選手全体のポジションごとの登録人数



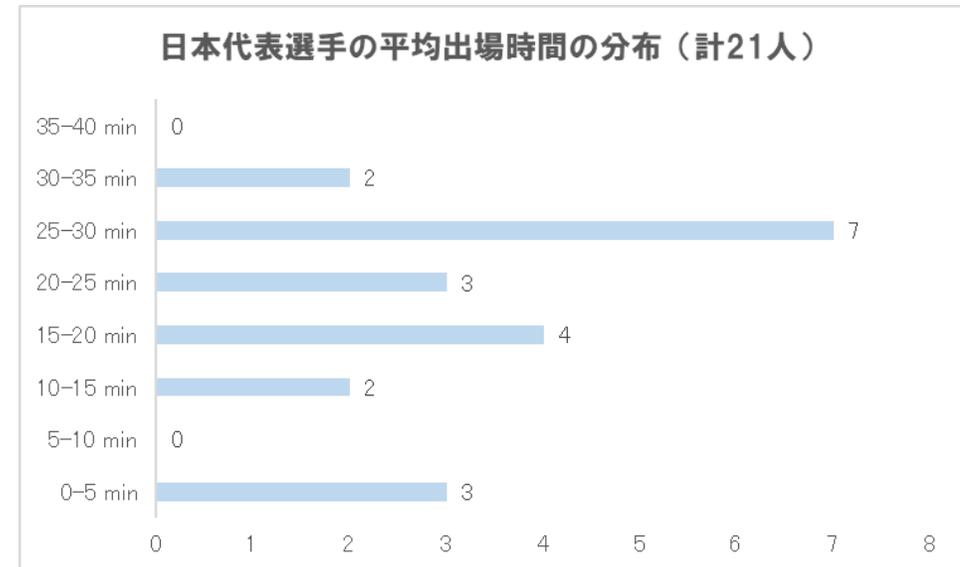
＋日本代表選手の外傷・障害発生割合は同国籍区分で同等程度にプレータイムがある日本代表以外の選手の割合と比較して**1.19倍高い**

- ・日本代表選手の外傷・障害発生割合は57.1%であり、同国籍区分で同等程度にプレータイムがある日本代表以外の選手(47.9%)と比較して外傷・障害発生割合が1.19倍高い
- ・本集計に用いた日本代表の活動時期は主にプレシーズンの期間であり、B.LEAGUEのシーズンに向けて心身の準備性を高める上で、その他の選手に比べてリスク要因を抱えた可能性がある

	対象人数	受傷者人数	発生割合
日本代表 <sup>a</sup>	21	12	57.1%
日本代表以外参考値 <sup>b</sup>	71	34	47.9%

- a 日本代表には、FIBAバスケットボールワールドカップ2023 および第19回アジア競技大会(2022/杭州)における日本代表選手21名が該当
- b 国籍区分が「日本人」もしくは「帰化」(日本代表に選出され得る国籍区分)であり、平均プレータイムが20-25分の選手の外傷・障害発生割合を参考値として算出した

- ・日本代表選手のリーグ戦における平均出場時間の分布は以下の通り
- ・平均値は20:08であり、比較対象の参考値は20-25minの日本代表選手を除く選手群にて算出している



## 十 概要

: 下表より、**外国籍選手の外傷・障害発生割合は日本人選手の1.4倍(47.6% vs. 32.9%)**

国籍区分	調査対象人数, 人	受傷者人数, 人	発生割合, %	参考値:2023年10月 時点での発生割合, %	参考値:2022-23 終了時点での発生割合, %
外国籍	143	68	47.6	22.83	71.43
日本人	389	128	32.9	11.40	54.42
帰化	19	10	52.6	7.14	60.00
アジア枠	19	11	57.9	25.00	50.00
全体	570	217	38.1	14.57	58.40

### SCSでの討議状況



: 依然として日本人選手と比較して外国籍選手の外傷・障害発生割合が高いものの、**開幕1ヶ月の段階よりもその差が小さくなっている**

: 全国籍区分においてシーズン開幕後1ヶ月間の受傷のリスクが高かったが、**外国籍選手において特にその特徴が顕著であったと考えることができる**

: 外国籍選手が**チーム活動に合流する際のコンディションが悪いケースや、チーム活動に合流してから開幕までの期間が長くなく、**

**準備・トレーニングが不足している可能性が開幕後1ヶ月間の外傷・障害発生割合の高さに影響している可能性がある**